

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2491400053		
法人名	株式会社キタイセ		
事業所名	グループホームあおい		
所在地	三重県いなべ市大安町大井田2836		
自己評価作成日	評価結果市町提出日	令和4年4月14日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JiyosyoCd=2491400053-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	令和4年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

できるだけ季節に合わせた外出支援を、と力を入れてきましたが、コロナのため外出もままなりません。そのような中でも恒例の初詣だけはと行きたい利用者さんだけになりましたがお連れすることができました。また、あおいではお正月を特別メニューでお祝いします。今年もすき焼きの鍋が2つテーブルに並びました。三日間は毎日ごちそうで皆さんに喜んでいただいています。毎月の新聞は外出、行事、生活の様子などの写真を中心に作っています。とても好評で楽しみにしてくださっているので10年間欠かさず発行しています。運営推進会議のメンバーさんにも会議ができないため配布だけは続けさせていただいています。担当職員さんには手書きで一言お便りを書いてもらっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

西には藤原の山々がそびえ、北部には員弁川と並行して国道365号線が走っている。広大な景色の中にブルーとベージュのツートンカラーの建物が晴天の空に映えるように建っているのが事業所である。1階はデイサービス、2階がグループホームである。隣には法人もあり、外気浴や散歩、木々の実りなど楽しみを感じて頂けるよう敷地内に公園を造った。またお正月は特別に新年のお祝いとしてとても豪華な料理、一番人気の高級な肉を使ったすき焼きが出て、利用者はもちろん職員も楽しみになっている。昨年の停電時には法人からの発電機に助けられたり協力体制は盤石である。また開設から10年が経ち職員間のコミュニケーションも良く、今後が楽しみな事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝、基本理念を読みあって実践につなげるようにしているが、最近惰性になってしまっている部分もあり、もう少しシンプルで職員が実践につなげやすいものを作りたいと感じている。	「一人ひとりの自由と意志を尊重し、自立を助け、その人らしい生活が送れるよう努めます。」「日々介護技術の向上に努め、明るく笑顔で接します。」の理念を毎日唱和しており、体の芯まで浸透し共有しながらチームで支援をしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所が民家や町から離れた場所にあるため日常的な交流は難しい。	開所当時より「自治会」には加入していて、年2回地域の掃除に参加したり、地域の祭りやコンサートなどには参加していたが、現在は中止中である。自治会長や民生委員が運営推進会議に参加し、地域との交流はある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	なかなかできていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で会議ができない状態が続いているが、毎月発行しているあおい新聞をメンバーのかたに届けて、お会いできた方にはお話をうかがったりしている。	現在は中止中であるが、毎月「あおい新聞」を今までの参加者に手渡している。事業所での取り組みを伝えたり話を聞いたりしながら、次回の参加を楽しみにして頂くように心掛けている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	新聞を届けながら実情をお話したり、お電話で質問したりしている。	運営推進会議への参加、外部評価の報告や事故報告、他に利用者についての相談など、色々な情報を聞かせて頂くなど、行政との連携は取れている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミニ研修や話し合いを行って身体拘束をしないケアを行っている。	身体拘束をしないケアについて毎朝、申し送り時に「ミニ研修」として話し合っており、研修会と同じファイルに閉じている。身体拘束・虐待防止のマニュアルは揃っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関しても、言葉がけ一つでも虐待につながってしまうこともあることを日ごろから話し合い防止に務めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前後見人制度を利用したことがある。現在は利用している方はいないが、必要に応じて活用できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	できる限りは理解、納得していただけるようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お会いして意見を聞く機会が現在はほとんど無いので、電話やLINEなどで家族様とつながるようにしている。	毎月の「あおい新聞」に担当者の気付きや日々の様子などを記入して家族に郵送している。また電話で話したりしながら意見を聞くようになっているが、今のところ感謝の言葉が多く運営についての意見は今のところはない。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの提案や意見は、管理者から統括に行き、代表に行くシステムがある。	外部評価の資料も職員の協力があり、色々な気付きから意見や要望などを話し合えるなど環境は整っている。また普段からコミュニケーションも取れており、気楽に意見も述べられている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者が評価を行い、職員の努力など代表者に伝えることで条件の整備などがなされている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、職員が働きながら資格取得できるように推進している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じグループ内の施設の交流はできるシステムがあるが、現在はできない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自宅にお伺いしたり、利用されているデイサービスでお話を聞いたりして、少しでも安心して入所できる関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お話を聞いたり少しでも安心できるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所のタイミングがその時なのかを見極めて入所日を決めるようにしている。グループホームなのでほかのサービス利用はできない。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる限り、本人とともに過ごしあえる関係作りをしたいと考えているがなかなか難しい。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	会えなくても、本人と家族の絆を大切にするために本人のことは常に伝えるように心がけている。希望するものをお願いすることもある。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在できていない。	入居前に管理者と職員が訪問し、生活歴や好みなど細かく聞き継続の資料としている。一人ずつ担当者を付けて支援に活かすように努力している。これからは写真や昔話などから、馴染みの人や場所を思い出す支援もするよう心掛けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一日の大半をリビングで過ごしているため、中にはうまくかかわりあえない利用者もある。その場合は席替えを行ったり馬の合わない利用者の中に職員が入ったりと、常に工夫をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要があれば相談にのったりもする。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や思いを把握してケアプランを作るため、利用者それぞれの担当者を作っている。	夢中になっている貼り絵やレクリエーション時、思いや希望を聞くように心掛けている。また入浴時やゆったり寛いでいる時なども表情や行動などから汲み取るようにしている。基本は理念に添うようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしを把握するようになっているがどうしても環境が違うため今まで通りの生活はできていない		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活習慣を把握しただけ自由にしてもらっているが、自宅で過ごすとは違うことが本人が一番わかっており一日の過ごし方は、ホームの流れにそっての生活になっている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要としているケアや課題は日々の実践の中から見出して職員と話し合い情報を共有し、介護計画を作っている。	アセスメント・介護計画の内容・経過報告・モニタリングへの評価や、家族との話し合いなどを日々の支援中や職員会議などで話し合い介護計画に活かしている。	利用者の支援は介護計画に基づいて行うもので、実行のチェックや気づきなどが分かるシートの作成等、介護計画が更なる充実したものになるよう期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録やそれぞれの変化などは情報を共有して実践や見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホームの機能はほぼ決まっているので事業所としての多機能化は難しいが、グループホームの中で個別にできる柔軟な支援を行うようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在はなかなか外部との交流はできていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に馴染みのかかりつけ医継続の希望を聞く。今は家族様の希望が全員グループホームの主治医になっており月に一回診察に来てもらっている。その他、眼科や特別な診療は家族様に協力していただいている。	利用者全員が協力医である。月1回の訪問診療と看護師や薬剤師との細かい相談、その相談を協力医へ伝えるなどチームで適切な医療体制が取られている。家族への安心にも繋がっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職はいない。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療連携室と連絡を取り合うようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	あおいでは看護職がないので看取りをしないことを入居時にお話しをしている。重度化した場合は同じあおいの有料老人ホームの受け入れがあることはお話す。特養などの申し込みをされる方もおられる。	入居時にも詳しく説明している。入浴の様子、嚥下の状態、夜間時の状態など事業所に出来る事を話し理解して頂いている。退去の場合は十分に話し合い、利用者の状態に合った所を紹介し、安心して頂けるような対応を心掛けている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のファイル、マニュアルを作り時々確認しあっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	実際に災害による停電が起きており、本社やデイサービス、有料あおいとの協力体制がある。	隣接している法人には男性職員が多く、昨年の停電時には同法人の有料老人ホームへの避難応援や重機での駐車場の雪かき等とても助かっている。1階のデイサービスとも協力体制は整っている。消防法に応じた訓練も年2回行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	現在、職員も利用者も女性ばかりなのでみんなが惰性になっている部分がある。気を付けていきたい。	女性職員ばかりで気が緩む時もあるが、基本に立ち返るように気を付けている。利用者の呼びかけは「さん」付け、居室のドアノックなど基本的な事は出来ている。又一人ひとりの尊厳にも気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員がすべて決めてしまわないで利用者の意見を聞くようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大事にしている。希望を聞きながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪を染めたい人は職員が染めたり、美容師さんに来てもらい自由なヘアスタイルにしている。誕生日はおめかししたり化粧をする人もいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	グループホーム本来の一緒に食事を作る、という支援はなかなかできておらず、現在は一部の方だけになっている。利用者さんは職員にすべてしてもらえるものと思っている。もっとみんなできるといいのだが。	業者からの食材を調理し提供しているが、いつも一品プラスしている。おやつはとても上手な職員が手作りのデザートを作りとても好評である。水分量や栄養は勿論、五感への刺激など楽しむ工夫も考えている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に合った食事を提供できるようにしている。食事で補えない分は栄養剤を使うこともある。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできない方は職員がケアしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	情報を共有しながら一人一人に合った支援を行っている。場合によってはオムツ外しもできている。現在半数が普通の下着で過ごしている。	利用者の約半数が布パンツである。排泄チェック表を利用した小まめな誘導の結果、紙パンツから布パンツへ、おむつから紙パンツへ移行できた例など自立に向けた丁寧な支援を行っている。チーム一丸となって努力した結果である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便は毎日確認し飲食物の工夫、水分の工夫など行って、時には薬を使用することもある。(一人だけはずっと昔から体質的に頑固な便秘で、本人も苦労しているかたがいる。)		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴はほぼ一日おきになっており、皆さんもそのパターンにそって入浴している。入浴剤やシャンプーなど好きなものを使ってもらったりもしている。	週3回午前中に入浴しているが、一人ひとりの希望も大事にしている。入浴剤・季節に応じた物などを使ったりしながら、楽しくゆったり入浴できるように工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝る時間も自由にして(大体は皆さん早く布団に入ってしまう)乾燥時は加湿したり環境を整え安眠できるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書は誰でも読むことができるようにしており、薬局、主治医と連携し電話相談できるようになっている。症状の変化などあったときは申し送りし、しっかり確認して薬の変更も全員がわかるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの好みを把握し、好きなことをしてもらっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在はほとんどできていない。(初詣と受診くらい)	初詣に出掛けとても喜ばれたり、毎日庭の公園を中心に歩行訓練は欠かさず行っている。天候の悪い日はフロア一内を歩いている。庭の公園には桜や梅などの木があり、これからの開花をととても楽しみにしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は所持していない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話したいといわれる方にはしてもらう。手紙なども勧めるがなかなか書きたがる利用者さんがいない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花やグリーンを置いたり、できるだけ工夫はしている。温度調整、加湿、光などにも配慮している。	広く明るく日当たりのいいフロアである。ソファや椅子などでゆったりと過ごされている。貼り絵が得意で等身大くらいの男雛・女雛をみんなで作りひな祭りを楽しんでいる。壁には四季を感じる物を飾るように心掛けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	好き嫌いの激しい利用者さんもあるため、常に居場所には気を使っている。少しでも快適に過ごせるような配慮をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の時に話し、テレビや使い慣れたタンスなど持参してもらっているが一部の方だけになっている。時には自室でゆっくり過ごしている方は3名。後の利用者さんはほぼ寝るときだけになっている。	ベッドとクローゼットが設置されている。後は家族と利用者が思い思いに持ち込んだTVやタンス等を置いていて、仲良し同士でお喋りする等、寛げる居室になっている。掃除は利用者が率先して行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロアはバリアフリーで手すりが完備されているが広すぎてほとんど使用されない。その分ほとんどの方がシルバーカーを使っている。現在独歩1名。シルバーカー7名。車いす1名。		